飛騨牛、台湾でPR

銘柄推進協など 肉のカット指導

飛騨牛銘柄推進協議会、県農林水産物輸出促進協議会とJA全農岐阜は、台湾・台北市の大手食肉卸業メイフル本社で「飛騨牛のカッティングセミナー」を行い、飛騨牛の魅力をPRした。

県が昨年7月に行ったトップセールスで、メイフルグループのジャック・リーCEO（最高経営責任者）から「飛騨牛の部位ごとに最適な調理方法を指導してほしい」と要望があり、実施した。レストランのシェフや現地メディアなど約30人が集まった。

参加者は動画や写真を撮りながら飛騨牛のトリミングやカットの技法を教わると、熱心に質問を投げかけた。会場では朴葉（ほおば）みそ焼きなど食材の魅力を引き出す料理が振る舞われ、好評だった。飛騨牛銘柄推進協議会の山内清久会長は「よりおいしく食べてもらい、魅力をさらに多くの人に知ってもらいたい」と語った。

昨年9月に台湾・桃園市で開催した「岐阜県デー」に登場した、チアガールの「楽天ガールズ」も駆けつけ、会場を盛り上げた。

（山田俊介）

飛騨牛の部位ごとの最適な調理方法を学ぶ参加者＝台北市、メイフル

無断複製・転載を禁じます